

予算特別委員会委員長報告

平成 2 4 年 3 月 2 9 日

予算特別委員会に付託されました第 1 号議案、平成 2 4 年度一般会計予算について、審査の経過概要と結果を報告いたします。

昨年は、東日本大震災の惨禍に見舞われ、多くの尊い命が失われる未曾有の災害が起こりました。改めて、被災された方々、それに伴う原子力発電所事故により今なお避難を余儀なくされている方々に、心からお見舞いを申し上げます。

さて本市を取り巻く社会経済情勢であります
が、1 0 0 年に一度と言われた世界同時不況から 3 年が過ぎ、景気は最悪の状態を脱してはおりますが、我が国の経済、雇用情勢は引き続き厳しい状況が続いております。

さらに、人口減少社会、超高齢社会の到来や進展する地域主権改革への対応など、大きな転換期でもあり、社会保障と税の一体改革問題などの国内的課題、またＴＰＰ交渉などの対外的課題など、早期に対応すべき課題が山積しております。

このようななか、亀岡市においては、「安全・安心 笑顔と絆の しあわせ実感都市」- 夢を育み 未来につなぐ にぎわい交流のまち をスローガンに、第４次亀岡市総合計画～夢ビジョン～の具現化に向け、平成２４年度亀岡市一般会計予算案が、提案されました。

これを受けて、予算審査にあたっては、真の市民福祉の向上につながる「安全安心のまちづくり」に効果的な予算であるのかに主眼を置き、予算の議決権は議会の権限の中でも重要であるとの認識のもと、多岐にわたって終始積極的かつ慎重に審査を行いました。

審査は、3月16日から4日間にわたり、各部ごとに説明を受け、十分な質疑を行ったあと、23日には、午前中に新亀岡幼稚園用地、馬路児童館及び大型スポーツ施設誘致予定地の3箇所の現地視察を行いました。

また、午後からは「委員間討議」を取り入れ、委員同士の議論を通じて共通認識をしたうえで重点質疑項目を次の通りまとめました。

- 1 大規模スポーツ施設誘致
- 2 人権啓発事業と人権教育事業
- 3 交流会館活用
- 4 文化センター・児童館の統廃合
- 5 他会計借り入れ
- 6 火葬場整備事業
- 7 こども医療費助成
- 8 高齢者生活支援事業
- 9 こども発達支援事業
- 10 商工業振興対策
- 11 ものづくり産業振興ビジョン策定

- 1 2 学校施設管理
- 1 3 情報教育推進事業
- 1 4 学校給食

以上の 1 4 項目について、3 月 2 6 日には市長をはじめ理事者の出席を求め、基本的な取り組み、今後の見通し、さらにその対応等についていただきました。

重点質疑の後には、再度委員間討議を行いました。

ここでの議論が集中したのは、8 項目であり、

- 1 大規模スポーツ施設誘致について、市民説明及び維持管理に関すること
- 2 人権啓発事業及び人権教育事業の類似性に関すること。
- 3 文化センター・児童館の統合に関すること。
- 4 上水道事業会計からの繰入金に関すること。
- 5 土地開発公社が先行取得した土地に係って火葬場整備事業に関すること。

- 6 高齢者の孤立化に関すること。
 - 7 学校施設の空調設備整備に関すること。
 - 8 小学校の情報教育に関すること。
- でありました。

そののち、討論に入り、討論では、
こども医療費、大規模スポーツ施設誘致等に
問題があるとする反対討論

子育て環境の充実に重点を置いた予算である。
また、マニフェスト実現のための積極的な予算
であるとする賛成討論 があり、さらには、
小学校の情報教育用コンピュータ機器を更新
し賃借を行うことについて修正を行いたいとす
る案も出されました。

修正案については、最終 2 案が提案されまし
た。

1 つは、馬場たかし委員提案による、こども医
療費助成の増額、及び大型スポーツ施設誘致、
国民保護、人権啓発に関する経費の一部減額を

行う内容のもの。

もう1つは、吉田ちひろ委員提案の情報教育に関する一部減額等の修正案でありました。

修正案の採決結果は、馬場委員提案の修正案は賛成者少数で否決され、吉田委員提案の修正案は賛成者多数で可決されました。

原案では、情報教育用コンピュータ機器のリースを行うに当たり1,050万円の予算が提案されておりました。

これについて執行部からは、7年間使用した現機器の部品の製造中止等により、今後の使用継続に支障が生じるとして更新を行うものとの説明がありました。

しかしながら、全てを一時に更新すべき妥当性がないことと、情報教育の中でのICT機器の果たす役割が不明確であるため、今後、情報教育の内容を実効性のあるものへと見直し、その運用の中で機器の更新も効果的に充実させてい

くべきとの理由から、今回は更新にかかる一部の費用を減額等修正したものです。

その後、修正部分を除く原案について採決を行い、採決の結果は賛成多数をもって、可決すべきものと決定しました。

なお、指摘要望としまして、

- 1 大型スポーツ施設誘致については、維持管理主体を明確にされたい。
- 2 人権啓発事業、人権教育事業に関しては類似事業も見受けられることから、統合等の整理を行い、効率的で実効性ある事業とすること。
- 3 文化センター・児童館の統合については、事業の必要性の的確な把握に努めたうえで、広く市民を対象とする一般施策での事業実施を行うとともに、効率的な運営を行うこと。

4 上水道事業会計からの繰り入れについては、市民への説明を行うとともに、10年間の償還が確実に執行されるよう、契約書等の公開を行うこと。

また、今後他会計からの繰入れを行う基準等を設け、財政規律の確立、維持に努めること。

5 新火葬場整備に関しては、早期に利活用計画を立て、地元説明も含めた具体的な取り組みを進めること。

6 議会で請願を採択した空調設備の設置に係る調査などを、亀岡小学校及び亀岡中学校の耐震化工事施工中に実施すること。

以上の6項目であります。

市長をはじめとする理事者におかれましては、議会の意見として、重く受け止め、十分議論を行い予算執行に反映されることを望みます。

また、大型スポーツ施設誘致に関しては、特

に利用状況、経済効果、水害対策を明確にして市民に説明をされたいという議論があり、全会一致を持って附帯決議としたところです。

今回の予算審査におきましては、審査日程を例年より1日多くとり、6日間の日程で行いました。予算の審査は決算審査と並んで自治体運営を左右する重要な議案審査であります。昨年9月定例会での決算認定に附帯決議をつけ、議会の意思を市政運営や予算へつなぐ決定をいたしました。今回の予算審査においては、その附帯決議の対応状況についても説明を受け、議会の意思に対応されているところも確認をいたしました。

また、より詳しい資料の提出を求めるとともに、2回に及ぶ委員間の討議を取り入れ、より効果的な予算審査を行うための審査方法を議論し、改革に取り組んでできました。

議会改革では亀岡市議会是全国から注目される議会になってきましたが、私たちの議会が目指しているものは議会改革ではありません。目

指すものは、議会基本条例の前文にうたうとおり「真の二元代表制を築くこと」、そして「市民福祉の向上」であり、そのために、新しい取組みに挑戦しています。

平成 24 年度予算は議決され、間もなく執行が始まります。今後も議会での議論を積み重ね、政策提案、提言を行ってまいりたいと思います。また、議会が果たす役割であるチェック機能にしっかり取り組んでいくことを改めて決意いたしまして、以上、予算特別委員会の報告といたします。